

ひゃくちゃん通信

第28号
令和2年2月

〒421-1221
東海フーズ株式会社
静岡市葵区牧ヶ谷2037
054-277-1667(代)

皆さん、こんにちは！お元気ですか？

東海フーズ社長の成瀬です。

いつも私共の商品を心を込めてご購入いただきありがとうございます。ございます。

今回は大変残念なお知らせをしなければなりません。



皆さんに可愛がっていただいた社員猫「ひゃく」は、春を待つことなく逝ってしまいました(令和二年二月二十五日)。昨年11月の第27号でもお知らせしましたが、失明して以前から動物病院で判明していた脳の病気が進行してしまいました。

死ぬ一週間程前から冷蔵庫の狭いすき間の奥に隠れるようになりました。多分体力的衰えを自覚して動物の本能で、敵から身を守る為の行動ではないかと思いました。この行動から、死期が近いことを感じざるを得ませんでした。

亡くなる2日前には、冷蔵庫の奥に行く力も無くなり、居間に置いたベッドの中に

くったりとしてしまいました。

最後は私の妻の見守る中で動かなくなり、ました。ちょうど夜でしたので、その夜は私共夫婦のベッドで一緒に寝て、翌朝、火葬場へ向かいました。

思えば平成25年の1月に、会社の周りをうろついていた野良猫を会社で飼うことになってから、ちょうど7年となりました。

最初は会社のアイドル的な存在となり社員の強いになればと思いつくことになりました。



2年後には会社の製造部門の増設に伴い、私の家で引き取り飼うことになり、今に至っております。

そして、なかなかお伺いできない皆様方に、この猫を通して会社の出来事など、いろいろお伝えしたいと考えて「ひゃくちゃん通

信」を始めさせていただきました。今までのお客様と私共の営業社員の忘れられない感謝の思いや会社内での社員の感動の出来事など夏目漱石ほどには、とてもいきませんが、一生懸命書かせていただいております。



今では多くのお客様のファックスのご注文に「ひゃくちゃんよろしく！」「ひゃくちゃん元気？」など添えていただくようになりました。この1月にも「5匹の捨猫を見るに見かねて引き取り、動物病院で検査の上、里親を探しました。2匹は引き取り親が見つかりましたが、3匹は自分で飼うこととなりました。大変ですが可愛いです。」

このようなご注文時のファックスもいただいたばかりでした。

もちろん、創業以来ご縁をいただいた北海道から九州の1万2千数百店のお客様の中には、動物の苦手な方もおられます。

「私は猫が苦手ですが、ひゃくちゃん通信は心温まる話や勇気の出る話など、いつも

楽しみに拝見しています。ひゃくちゃんにもヨロシクネ。」このようなお葉書もいただいたこともあります。

社員猫「ひゃく」は捨猫(病院でのチェックで去勢されていたことが分かりました。)であり、会社で飼うことになった時点で、先生の診断で推定6才とのことから、約13年の命でした。厳しい野良猫生活を生き抜いたのではないかと思います。

全国の皆様にお愛がっていただいたことを社員猫「ひゃく」に代わりまして、厚く御礼申し上げます。ありがとうございます。ニャン！」

お世話になりました



社員猫「ひゃく」は、いなくなりましたが、これからも「ひゃくちゃん通信」として名前には変わりなく続けさせていただきます。

社内の出来事、お客様とのお話、お伝えしたいイイ話など、いろいろ書かせていただきます。よろしくお願いいたします。よろしくお願致します。

東海フーズ株式会社

代表取締役 成瀬 敏明